

富山高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	言語学 I	
科目基礎情報							
科目番号	0090			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科			対象学年	3		
開設期	前期			週時間数	1		
教科書/教材	ベーシック日本語教育 (ひつじ書房)						
担当教員	近藤 周吾						
到達目標							
言語や日本語の特質を理解し、日本語を外国人に教えることができる。また、自身の外国語修得に活かす。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	言語や日本語の特質を理解できる。			言語や日本語の特質をおおむね理解できる。		言語や日本語の特質を理解できない。	
評価項目2	日本語を外国人に教えることができる。			日本語を外国人に教えることができる程度できる。		日本語を外国人に教えることができない。	
評価項目3	言語学の知識を自身の外国語修得に活かすことができる。			言語学の知識を自身の外国語修得に活かすことができる程度できる。		言語学の知識を自身の外国語修得に活かすことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要	外国語としての日本語を教えるという観点から、母語や外国語、さらには言語一般についての理解を深める。特に、一般言語学と日本語の構造について学ぶ。						
授業の進め方・方法	教員 1 名が単独で実施する。適宜、視聴覚教材なども使用する。調べ学習を行う。						
注意点	◆いわゆる国語や外国語との違いを理解すること。 ◆積極的な授業参加が望ましい。 ◆携帯電話等の使用は、原則禁止とする。 ◆60点に達しない者については追認試験を実施する場合がある。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		この授業の概要について説明する。		
		2週	オリエンテーション		この授業の概要について説明する。		
		3週	言語の構造一般		言語の構造一般を理解する。		
		4週	日本語の音声・音韻		音声学・音韻論の基礎を学習する。		
		5週	日本語の音声・音韻		音声学・音韻論の基礎を学習する。		
		6週	日本語の音声・音韻		音声学・音韻論の基礎を学習する。		
		7週	日本語の音声・音韻		音声学・音韻論の基礎を学習する。		
		8週	中間試験		音声学・音韻論の基礎を学習する。		
	2ndQ	9週	外国語の音声・音韻		音声学・音韻論の基礎を学習する。		
		10週	外国語の音声・音韻		音声学・音韻論の基礎を学習する。		
		11週	形態論・語彙論		語彙や語史について理解する。		
		12週	形態論・語彙論		語彙や語史について理解する。		
		13週	形態論・語彙論		語彙や語史について理解する。		
		14週	形態論・語彙論		語彙や語史について理解する。		
		15週	期末試験		授業の理解度を確認し、理解の定着を図る。		
		16週	これまでの復習・補足				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	30	0	0	0	0	20	50
専門的能力	25	0	0	0	0	0	25
分野横断的能力	25	0	0	0	0	0	25